

◆日常診療下における乳幼児CTの撮影法,造影法,被ばく線量に関する調査研究

- 概要：全国の国立大学病院における日常診療下にて乳幼児造影CT検査を実施した患者を対象に、乳幼児造影CT検査における撮影条件、造影法と画像コントラスト、画像ノイズ、被ばく線量の実態を調査して明らかにし、目的に合わせた撮影条件、造影法を検討する上で参考となるデータベースを構築することを目的とした研究である。上記の研究目的を達成することにより、将来的に乳幼児造影CTの撮影法、造影法がより良く発展し、より安全かつ有用な検査に貢献すると考えられる。

2019年9月17日から2025年3月31日において、小児CT検査における撮影条件、被ばく線量および造影剤投与条件を調査する。

本研究において個人情報を取り扱いません。研究実施機関において責任を持って情報は管理しています。

- 情報提供先：全国国立大学放射線技師会
- 研究実施機関：福井大学医学部附属病院 放射線部
- 京都大学第三者提供承認番号：H0066